

研究授業報告

3年担任 田中 美沙希

11月1日（金）に「相手のことを思いやり、だれとでも助け合う児童」の育成を目指して、3年2組で道徳の研究授業を行いました。

授業では、相手を思いやる心を考える教材として「バスの中で」というお話を扱いました。子ども達は、バスに揺られて大変なおばあさんに、席を譲ろうとするわたしの声はどうしても出てこない場面で、「席はゆずりたいけれど、緊張して声が出ない。」「声を掛けたいけれど、周りの人に見られるのは恥ずかしい。」、と相手を思いやりつつも、なかなか行動に移せない気持ちについて考えました。また、おばあさんに声を掛けることができた場面では、その行動を支えたわたしの思いについて、「もっと大きなけがにつながってしまうかもしれないから声をかけた。」「自分は席に座っていたから、座っていなかったおばあさんに譲ろうとした。」と考えを深めていました。学習の最後には、今までの自分自身の経験から、親切にしたことについて考えました。「自分より汗をかいていたから冷水機の順番を譲った。」「松葉杖をついている人がいたので、電車の席を譲った。」など進んで親切にすることについて一人一人がこれまでの経験を思い起こしていました。

授業の中で、一生懸命発言する姿や、友達の意見を聞いて頷いたり声を上げていたりする姿が素敵でした。今回の授業で学んだことを、今後子ども達との関わりに生かしていきます。

